

令和6年度 第2回 大阪府立枚方高等学校 学校運営協議会 議事録

日時 令和5年 11月 25日(月) 14時00分～15時30分

場所 本校会議室

次 第

1 校長挨拶

2 出席者紹介

3 資料確認

4 事務局より

(1)校長より 資料「学校経営に関する進捗状況(概要)」

(2)教務部より 資料「教科書選定手順」「選定教科書一覧表」

(3)進路指導部より

(4)文化国際部より 資料「海外研修旅行報告書」「英語検定合格者数」

(5)その他

5 協議、意見交換

(意見)授業観察でお気づきになられたことがあれば、教えていただきたい。

- ・高校の授業を見学する機会がほとんどないので、1人1台端末で家庭学習や学校での学習をしていたり、ペアワーク、毎時間の振り返りや小テストなど、すごく丁寧にご指導されている様子が印象的でした。
- ・1人1台端末はあくまでもツールであるが、活用については学校によって差があると感じた。枚方高校は活用率が高いと思った。子どもたちがとてもまじめだった点が素晴らしいと思った。小学校でも探究学習に力を入れている。あとで、高校での取り組みについても教えていただきたい。
- ・英語の授業を見学して発音の上手さに感銘した。
- ・1人1台端末の使用については、子どもからも話を聞くが、アクセスが集中するとネットワークが遅くなると聞いている。使えるものを使いたいときに使える環境に改善されるとうれしい。
- ・授業観察に参加したとき生徒が我々のことに気をとらわれず集中して授業を受けていたことに驚いた。

Q. 回線が遅いことに改善策はあるのか。

A. ネットワークがつながりにくい環境になっていることもあるが、大阪府の方も対策は考えていると思う。全校的な課題となっている。

配線を変える工事は数年に一度ある。

(意見)小学校はすべて回線を変えた。その後は枚方の小中学校は不都合を感じなくなった。

Q. 探究的な学びの進捗状況を教えてほしい。

A. 1年次では、協働的に課題に取り組む基礎として、コミュニケーショントレーニングに力を入れている。2年次にはSDGs課題研究に取り組んでいる。摂南大学の先生方にご指導いただくことで、より深い研究が可能になっている。3年次には、枚方市役所と連携してビジネスアイデアコンテストを行っている。調べることから発展させて、企業の課題について解決策を考えて提案型のプレゼンテーションを行っている。

課題研究の成果を発表する LETS 合同発表会が、1/25 ホテルアウイーナで開催されますので、よろしければお越しください。

(意見)外部の団体と共同して課題探究を行っていることが新しい学びを得ていると感じた。

Q. 小中学生の不登校が増加していると聞くが高校でどのようになっていますか。

A. スクールカウンセラーやスーパーバイザーの力も借りて、保護者も含め困り感を共有して、登校できるようになればと支援しているのが、実情です。
本校のみならず、大阪府全体として大きな課題と受けとめている。

Q. スクールカウンセラーの相談の活用状況はどのようなものか。

A. 生徒だけに限らず、保護者、教員も受けているので活用できている状況である。

(意見)英検について。素晴らしい結果だと思います。本学の指定校入試でも英検を受けていない生徒が思いのほか多く、本学に入学を希望する生徒なら準2級は持っておいてほしい。TOEIC受験についても引き続き進めていってほしい。

Q. 災害時の取り組みはどのように行っているか。

A. 避難訓練の事前学習はあるが、カリキュラムとしての取り組みはまだまだの部分もある。消防署と連携して対応している。高校生として、自分自身をいかに助けるかということに加え、共助についても触れながら教育をしている。

(意見)万が一大きな災害があったとき枚方高校を利用できるのか確認したい。

・防災避難計画については、教員に共有しているが、休日等の対応の難しさ、枚方市の避難所として設定されるには、難しい面もある。

Q. 教科書とパソコンの使用割合はどうか？

A. 教員により違いはあります。また、単元により使用頻度は変わる。

Q. デジタル採点を利用しているのか

A. 使用している。入試の採点に向けて取り組んでいる。

Q. 生徒会の選挙はなぜ前期と後期に別れているのか。

A. 負担の分散、行事や生徒の活躍機会を分散させて、生徒たちがチャレンジしやすくなっているのではないかと思う。

Q. 語学研修で、参加後の生徒たちの様子が変わったことには、何か仕掛けがあるのでは？なにが影響しているか教えてほしい。

A. 今年度の語学研修は、滞在中毎日オールイングリッシュの授業をしている。生徒たちは聞き逃さないように、集中して授業を受けている。

8:30~15:00 頃まですべて英語。現地の授業に、バラバラに入っていくので、日本人生徒が固まることがない。友達との会話も授業もすべて英語。オールイングリッシュの環境で、生徒がたくましくなる。英語力だけでなく、人として成長して帰ってくる。

6 その他